

第6学年 社会科学習指導案

令和2年11月12日(木)
 授業者 沼田 一臣
 対象 6年1組 33名

1 小単元名 「世界に歩み出した日本」 (8時間)

2 小単元の目標

我が国の歴史的事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、産業の発展、科学の発展、条約改正などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、産業の発展、科学の発展、条約改正などを理解している。 ② 調べたことをキャプション(見出し)や文章などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問を見だし、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、産業の発展、科学の発展、条約改正などについて考え表現している。 ② 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、産業の発展、科学の発展、条約改正などを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。	① 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、産業の発展、科学の発展、条約改正などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 研究内容との関連

(1) 教材について

「世界に歩み出した日本」の姿をより具体的に調べ考えられるよう、地域教材を取り上げ、具体的事実として単元内に例示する。具体的には、①町田で盛んに行われた自由民権運動の様子について、②地域に残る日清・日露の戦没慰霊碑について、③生糸の輸送に果たした横浜線について、④比較的近くにある北里大学病院についてである。こうした取り組みを通じて、概括的な歴史認識から実感的・共感的な歴史認識に近付けるもともと考える。

(2) 学年研究との関連

①主体的に追究する問いの工夫⇒問いの連続性や構造化「単元内における問いの関連性の工夫」

「つかむ」段階でノルマントン号事件を契機に条約改正に向けた機運が高まったことを押さえ、国際的地位の向上という目的を明確にした上で、学習問題に「日本はどのようなことをして、世界の国々に認められるようになったのか」を位置付けるようにする。そして、学習計画づくりで世界に認められるための様々な取組を予想させ、単元構想を立案した上で、毎時の問いを追究できるようにする。

②見方・考え方を働かせる学習活動の工夫⇒地域の人々や国民の生活と関連付けて考える学習活動の工夫

児童が時間的・空間的・相互関係的に社会的事象を捉えるだけでなく、地域の人々や国民の生活と関連付けることで、より実感的に社会的事象を捉えることができると考える。そこで、学習内容を関わりのある地域教材を単元内に位置付け、地域の具体的な事象から全国の統括的な事象を考えられるようにする。

③学習の見通しと振り返りの工夫⇒毎時のキャプションの活用と整理

学習の計画に基づいて、児童が学びを振り返ったり、学んだことを位置付けたりする取組が大切である。「調べる」段階で毎時間のまとめをキャプション(見出し)にし、それを「まとめる」段階で年表に整理することで、学びの足跡を概観できるようにする。

5 教材構造と問いの構成

本小単元「世界に歩み出した日本」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)に即して教材を分析し、以下のように「教材構造図」に整理した。

学習指導要領 第6学年内容(2)

ア(コ)	大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解すること。
ア(シ)	遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
イ(ア)	世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
(内容の取扱い)	
オ	アの(イ)から(サ)までについては当時の世界との関わりにも目を向け、我が国の歴史を広い視野から捉えられるよう配慮すること。
キ	イの(ア)については、歴史学習全体を通して、(中略)我が国の歴史は政治の中心地や世の中の様子などによって幾つかの時期に分けられることに気付くようにする(後略)。

過程	概念や知識		資料	
つかむ	国際的地位の向上という目的の明確化	㊦江戸時代に結んだ不平等条約によって日本の国際的地位は低下していた。	ノルマントン号事件で外国人の受けた罰は軽いものであったため、ノルマントン号事件の判決を国民は不満に思った。 江戸時代に結んだ不平等条約の改正に成功した。	ノルマントン号事件の資料 条約改正に関する資料
		条約改正に向けた問いの軸を中心に、キャプション(見出し)にまとめていく学習活動	㊧国会を開設したり、大日本帝国憲法を発布したりしたことで日本の政治が近代化した。	板垣退助や大隈重信によって自由民権運動が盛んになった。 伊藤博文が中心となって大日本帝国憲法が発布された。
㊨日清・日露の戦争の勝利によって日本の軍力が世界に認められた。	日清戦争の勝利により清から多額の賠償金をとり、台湾などを植民地にした。 日本は多くの犠牲を払いながらも日露戦争に勝利した。		日清戦争の資料 賠償金と戦費の表 町田の慰霊碑の写真 日露戦争の資料	
㊩工場の数が増えたり鉄道路線が発展したりしたことにより日本の産業は発展した。	製糸業や紡績業をはじめとした軽工業が発展した。 日清戦争で得た賠償金で八幡製鉄所を建てた。		工場の分布図 産業の発展についての文章資料	
㊪国際社会や医学で活躍する日本人が現れた。	北里柴三郎が破傷風の治療法を発見し、 新渡戸稲造は国際連盟の事務次長をつとめた。		世界で活躍した日本人の資料	
㊫陸奥宗光や小村寿太郎の働きによって条約を改正した。	陸奥宗光が領事裁判権を撤廃させた。 小村寿太郎が関税自主権を回復させた。		条約改正までの詳しい年表 陸奥宗光の資料 小村寿太郎の資料	
まとめる	㊬大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、産業の発展、科学の発展、条約改正などにより我が国の国力が充実し、国際的地位が向上した。			

本小単元「世界に歩み出した日本」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)を意識して、児童が追究する「問い」の構成と児童の学びの流れを以下のように「問いの構成図」に整理した。

学習指導要領 学年目標 (学びに向かう力・人間性)

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習も問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛す心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

＜問いの構成図＞

視点・方法	本小単元における「問い」の構成例(0次案)	期待する子供の学びの姿
条約の改正	<p>単元前：日本では明治維新を機に近代化を進めたが、不平等条約を結んだままであった。</p> <p>問い：裁判の判決を聞いて、この時代の日本人はどのようなことを思ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルマントン号事件を日本人はどう思っていたのだろう。 ・当時の外国人は日本のことをどう思っていたのだろう。 <p>・条約を改正したことを調べてどんなことを疑問に思いましたか。</p>	<p>裁判の判決がひどい。</p> <p>認められるためにどのようなことをしたのかな。</p>
	<p>学習問題：日本はどのようなことをして、世界の国々に認められるようになったのだろうか。</p>	
	<p>大日本帝国憲法の発布</p> <p>問い：日本はどのように政治改革を行ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は国会を開設したり、大日本帝国憲法を作ったりして、どのような政治を行ったのだろう。 	<p>国会や憲法をつくり、江戸時代に比べて今の日本の政治に近づいたなあ。</p>
日清・日露の戦争	<p>問い：2つの戦争によって日本はどのように変わったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清日露戦争はどのような戦争だったのだろう ・日清日露戦争によって外国の日本に対する見方はどのように変わったのだろう。 	<p>多くの犠牲があったが、清やロシアに勝った日本は世界に並んだなあ。</p>
産業の発展	<p>問い：日本の産業はどのように発展したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の様子はどのように変わったのだろう。 ・日本の産業の発展を世界はどう見ていたのだろう。 	<p>急激に工場が増えて、鉄道路線が広がった。</p>
科学の発展	<p>問い：当時の日本人は世界でどのような活躍をしたのだろう。</p>	<p>医療や国際機関で日本が活躍できるようになったんだなあ。</p>
条約の改正	<p>問い：どのように条約改正が達成できたのだろう。</p>	<p>陸奥宗光や小村寿太郎の働きで条約改正できたんだなあ。</p>
事象を関連付ける総合する	<p>問い(めあて)：キャプションをもとに、年表を作成し学習問題についての考えをまとめよう。</p>	
	<p>国会の開設、大日本帝国憲法の発布など政治の近代化や、産業・輸送の発展、日清・日露戦争に勝利したことで国力が充実した。また、不平等条約の改正に成功し、科学者が世界で活躍するなど、日本は世界の国々から認められるようになった。私たちが暮らす地域もこれらの事に関わっていた。</p>	

6 小単元の指導計画 (全8時間)

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 □指導上の留意点 【評価】 (★見方・考え方を働かす)
つかむ	ノルマントン号事件の模擬裁判を行い、日本が外国からどのような影響を受けていたのか話し合い、学習問題をつくる。①	○領事裁判権と関税自主権について調べる。 ○ノルマントン号事件の模擬裁判を行う。 ◆裁判の判決を聞いて、この時代の日本人はどんなことを思ったのだろう。 ・裁判の判決がひどい ・こんな条約改正しないといけない ○条約改正の資料から疑問に思うことを話し合う。 ・認められるためにどのようなことをしたのかな。 ○学習問題をつくる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">学習問題 日本はどのようなことをして、世界の国々に認められるようになったのだろうか。</div>	◎資料 □指導上の留意点 【評価】 (★見方・考え方を働かす) ◎領事裁判権、関税自主権についての図 ◎ノルマントン号事件の絵 □模擬裁判を通して、不平等条約への問題意識を高められるようにする。 ★現在の政治や裁判制度と比較する。 ◎条約改正に関する資料 【思判表①】発言やノートの記述内容から「この時代の世界の様子や不平等条約の内容、日本の人々の思いに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。
	年表から学習問題について予想し、学習計画を立てる。②	○日本の取り組みを年表から予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">(めあて) 年表から、学習問題について予想しよう。</div> ・政治の仕組みが整えられたのではないかな。 ・戦争に勝ち世界に認められたのではないかな。 ・産業を発展させたのではないかな。 ・世界の中で活躍する人が増えたのではないかな。 ○予想したことをもとに、学習計画を立てる。	◎条約改正までの年表 □予想から学習計画を立てる。 ★予想を整理し、学習の見通しをもつ。 【態度①】発言やノートの記述内容から、「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」評価する。
調べる	自由民権運動や国会開設、大日本帝国憲法について調べることを通して、日本の政治の仕組みが近代化したことを理解することができる。③	◆日本はどのように政治改革を行ったのだろうか。 ○国会開設・大日本帝国憲法について調べる。 ・自由民権運動が盛んになった。 ・私達が住んでいる地域でも自由民権運動が盛んに行われていた。 ・伊藤博文がドイツの憲法を学び作成した。 ・大日本帝国憲法が發布され、政治体制が整った。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">国会をつくり、憲法をつくることを求める自由民権運動が盛んになった。また、国会開設に備えて板垣退助や大隈重信らは政党をつくった。伊藤博文が中心となって大日本帝国憲法を發布した。自由民権運動は、私たちの住んでいる地域でも盛んに行われた。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">近代化した日本の政治</div>	★当時の外国の政治体制と比較する。 ◎西南戦争の絵 ◎自由民権運動の資料 □武力による解決から言論による解決に社会が変化すること気付かせる。 ◎大日本帝国憲法発布の資料 □外国の政治体制を参考にしたことに気付かせる。 【知技①】ノートの記述等から「必要な情報を集め、読み取り、国民が政治に参加する機運が高まったことや、憲法に基づき、天皇を主権としつつ国民が政治に参加する政治体制がつくられたことを理解しているか」を評価する。
	日清・日露戦争について調べることを通して、多くの犠牲を払いながらも清やロシアに勝利し、世界の国々から軍事力が認められるようになったことを理解できる。④	○日清・日露戦争について風刺画をもとに調べる。 ◆2つの戦争によって日本はどのように変わったのだろう。 ・自分の国より大きな国に勝つことで世界に、日本の軍事力を認めさせた。 ・私達の町からこの戦争に参加した人たちがいて、なくなった人の慰霊碑が今も大切にされている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">朝鮮半島や満州の支配をめぐる日清・日露戦争が起こった。この戦争の勝利で欧米に日本の軍事力を認めさせた。私たちの住んでいる地域でもこの戦争に参加した方がいて、亡くなられた方の慰霊碑がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">世界に認めさせた日本の軍事力</div></div>	◎日清・日露戦争風刺画 □日本、清、ロシアの三か国が朝鮮を狙っていることに気付かせる。 ◎日清戦争・日露戦争の資料 ◎町田の慰霊碑の写真 □2つの戦争によって、日本が得たものと、犠牲になったものの両方を考えさせる。 ★戦争の結果と外国が日本の力を認めるようになったことを関連付ける。 【知技①】ノートの記述等から、「必要な情報を集め、読み取り、当時、大きな力をもっていた清やロシアに勝利したことで、明治維新を経て日本の軍事力が国際的に一目を置かれるようにことを理解しているか」を評価する。
	日本の工業生産や交通の整備について調べることを通して、軽工業の	○日本の貿易の変化について調べる。 ◆産業はどのように発展したのだろう。 ○産業の変化について調べる。 ・富岡で働いていた女性たちが、技術を広めた。 ・工女たちが、朝早くから夜遅くまで働いた。	◎1890年と1910年の輸出のグラフ ◎製紙工場の労働している写真 ◎産業の様子と変化 ★施設・労働者・輸送の視点で整理し、

	<p>分野で世界一位となったり重工業が発展したりするなど、日本の産業が世界的にも大きな影響をもつようになったことを理解することができる。⑤ (本時)</p>	<p>○調べたことを基に、日本の産業の発展の要因について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場の施設は、電気などを活用した機械を導入し、大量生産につながった。 <p>この時代、紡績業や製糸業が盛んになり、たくさんの近代化した工場がつくられた。製糸業では、生産量が世界1位となり、輸出量も世界1位となった。また、八幡製鉄所などもつくられた。輸送手段として鉄道もつくられ、私たちが普段利用している横浜線もつくられた。このように、日本の産業は発展した。</p> <p>産業が発展したことで世界に認められた</p>	<p>調べたことを基に、思考を深められるようにする。</p> <p>□生産量を増やすとともに、輸送手段の効率化も図らなければならないことに気付かせる。</p> <p>【知技①】 ノートの記述等から、「必要な情報を集め、読み取り、明治の殖産興業が充実し、日本の工業生産が世界的に認められるようになったことを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>北里柴三郎や新渡戸稲造の働きについて調べることを通して、政治や産業、軍事力や国際舞台での日本人の活躍を背景に、不平等条約が改正できたことを理解することができる。⑥</p>	<p>○世界で活躍した日本人の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当時の日本人は世界でどのような活躍をしたのだろう。 北里柴三郎が破傷風の治療法を発見した。 北里が作った大学が私達の住む地域にある。 新渡戸稲造は国際連盟の事務次長をつとめた。 <p>国際社会で活躍する日本人や、医学で世界的に認められる日本人が現れた。北里大学は、私たちの住んでいる地域に建てられている。</p> <p>世界で活躍する日本人</p>	<p>○世界で活躍した日本人の資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ★国際社会での活躍と、国力の充実、国際的地位向上を関連付ける。 <p>【知技①】 ノートの記述や発言から、「必要な情報を集め、読み取り、この頃、北里柴三郎や新渡戸稲造など、国際社会で重要な働きをする人物が表れるようになったことを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>陸奥宗光や小村寿太郎の働きについて調べることを通して、政治や産業、軍事力や国際舞台での日本人の活躍を背景に、不平等条約が改正できたことを理解することができる。⑦</p>	<p>○これまでの学習内容から関連付け、なぜ条約改正が達成できたのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆どのように条約改正が達成できたのだろう。 政治が世界の国々に追いつき近代化した。 産業発展し、国の力が高まった。 戦争に勝利したことで日本の力を認めた。 <p>1894年に陸奥宗光が条約の一部を改正し領事裁判権をなくした。1911年には、小村寿太郎が関税自主権を回復させた。政治の近代化や産業の発展、戦勝国になったことで、条約改正を達成することができた。</p> <p>ついに条約改正</p>	<p>○条約改正までの詳しい年表</p> <p>□多くの人が努力し、長い時間をかけ条約が改正されたことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★これまでの学習を関連付ける。 <p>【知技①】 ノートの記述や発言から、「必要な情報を集め、読み取り、陸奥宗光や小村寿太郎らが当時の日本の発展を基に外国と交渉し、条約改正を達成したことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>まとめる</p>	<p>学習問題について調べてきたことについてキャプションを基に年表に整理し、学習問題について話し合うことを通して、国力が充実したことで国際的地位が向上したことを理解することができる。⑧</p>	<p>(めあて) キャプションをもとに、年表を作成し学習問題についての考えまとめよう。</p> <p>○キャプション(見出し)をもとに年表を作成する。</p> <p>○年表を基に学習問題の考えをノートにまとめる。</p> <p>国会の開設、大日本帝国憲法の発布など政治の近代化や、日清・日露戦争に勝利したこと、産業・輸送の発展で国力が充実した。また、科学者が世界で活躍し、不平等条約が改正するなど、日本は世界の国々から認められるようになった。私たちが暮らす地域もこれらに関わっていた。</p>	<p>○年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ★この時代の取り組みと国際的地位の向上を関連付けて考える。 <p>□政治の近代化、これまでの学習内容が相互に関連し、国力が充実し国際的地位が向上したことに気付かせる</p> <p>【思判表②】 年表への記述等から、「政治の近代化、日清・日露戦争、産業や科学の発展、条約改正などを関連付け、総合し明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】 年表やノートの記述内容等から、「調べたことをキャプション(見出し)や文章にまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解しているか」を評価する。</p>

7 本時の学習 (5/8時間)

(1) 本時のねらい

日本の工業生産や交通網の整備について調べ、軽工業や重工業を中心に産業が発展し、日本の産業が世界的にも大きな影響力をもつようになったことを理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◎資料 □指導上の留意点 【評価】★見方・考え方を働かす
つかむ	<p>○1890年と1910年の輸出から、生糸の輸出額が20年間で8倍近く増えていることをつかみ、日本の産業がどのように発展したのか疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、このように輸出額が8倍も上がったのだろうか。 ・働き方も変わったのではないか。他の産業はどうなんだろう。 ・西洋の技術もたくさん取り入れたのではないか <p>本時の問い 世界の国々に認められるために、日本の産業はどのように発展したのだろう。</p>	<p>◎1890年と1910年の生糸の輸出額のグラフ</p> <p>◎製糸工場の労働している写真</p> <p>★1890年と1910年の生糸の輸出額を比較させ、時間軸における生糸生産量の向上を視覚的に捉えさせるようにする。</p> <p>□日本が1910年に世界一の生糸生産国になったことを押さえる。</p>
つなげる	<p>○当時の日本の産業はどのように発展したのか調べる。 (施設) (労働者) (輸送)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年間で、約13倍も工場が増えた ・八幡製鉄所がつくられ、鉄鋼の生産を始め、日本の重工業の発達に大きな役割を果たした。 ・富岡で働いていた女性たちが、製糸業の技術を広めた。 ・工女と呼ばれる女性たちが、朝早くから夜遅くまで働いた。 ・品質の良い生糸をつくった。 ・八王子には、長野県や山梨県、八王子でつくられた生糸が集まり、普段使っている横浜線の鉄道で横浜まで運んでいた。 <p>○調べたことを基に、日本の産業の発展の要因について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の施設は、電気などを活用した機械を導入し、大量生産につながった。 ・賃金で働く人を多く雇うことで、生産力を高めることができた。 ・鉄道や船を活用し、商品を大量に素早く遠くまで、輸送できるようになった。 	<p>◎産業の様子と変化</p> <p>★施設・労働者・輸送の視点で整理し、調べたことを基に、思考を深められるようにする。</p> <p>□ヨーロッパの技術を取り入れながら、工場を増やし、生産量を増やしたことに気付かせる。</p> <p>□生産量を増やすとともに、輸送手段の効率化も図らなければならぬことに気付かせる。</p> <p>【知技①】ノートの記述や発言から「必要な情報を集め、読み取り、明治の殖産興業が充実し、日本の工業生産が世界に認められるようになったことを理解しているか」を評価する。</p>
まとめる	<p>○学習内容を振り返りまとめを書き、キャプションをつける。</p> <p>学習課題のまとめ(調べる) 産業が発展し、世界に認められた</p> <p>この時代、ヨーロッパの技術を取り入れたたくさんの工場がつくられた。製糸業では、朝早くから夜遅くまで働き質の良い生糸をつくり、横浜まで鉄道を使って輸出した。私たちが普段利用している横浜線もつくられた。また、八幡製鉄所などもつくられ、日本の重工業の発達に大きな役割を果たした。このように、日本の産業は発展し、世界から認められていった。</p>	<p>★紡績業、製糸業、鉄鋼業の発達を関連付け、日本の産業が発展したことをまとめる。</p>

〈板書〉

世界に歩み出した日本

学習課題
世界の国々に認められるために、日本の産業はどのように発展したのだろう。

○資料から調べたこと

- ・工場の増加
- ・ヨーロッパの機械
- ・製鉄所
- ・女の人が働く
- ・夜まで働く
- ・技術を広めた
- ・鉄道をつくった
- ・横浜線
- ・アメリカに輸出

○考えたこと

- ・生産が増えた
- ・国内で鉄をつくったことで生産力があがった
- ・今まで男が主に働いていたが、女性がたくさん働くことで成産量が増えた
- ・質のいい生糸をたくさんつくった
- ・たくさんのものが素早く輸送できる
- ・私たちが住んでいる地域も関わっていた
- ・アメリカに輸出したことで世界に認められた

学習課題のまとめ

産業が発展し、世界に認められた

この時代、ヨーロッパの技術を取り入れたたくさんの工場がつくられた。製糸業では、朝早くから夜遅くまで働き質の良い生糸をつくり、横浜まで鉄道を使って輸出した。私たちが普段利用している横浜線もつくられた。また、八幡製鉄所などもつくられ、日本の重工業の発達に大きな役割を果たした。このように、日本の産業は発展し、世界から認められていった。